

2017 年度年末手当の支払い第 1 回交渉 組合側が要求趣旨説明

会社の順調な業績を反映し 3.29 ヶ月要求（年間臨給 6.2 ヶ月・過去最高額 2007 年度同額）。第一四半期、単体・連結決算共に過去最高、純利益 2860 億円（年間計画）を見込んでいる。2014 年から 4 期連続の賃金改善、2017 年管理手当、扶養手当の改善は評価するものの、直近の会社業績は好調である。水平分業、・業務の効率化・急激な世代交代を乗り越えるため日々奮闘している社員に報いるためにも会社は誠意ある回答をすべきである。

1. 基準内賃金 3.29 カ月分 12 月 4 日まで支払うこと
2. 成績率の適用については公平・公正に行うこと
3. 安全・サービス・人材育成に更なる投資を行なうこと

**当社の財産である安全と社員への
投資と還元を強く求める！！**